

『愛知淑徳大学論集－交流文化学部篇－』創刊のことば

交流文化学部長 榊原 國城

愛知淑徳大学交流文化学部は、多文化共生社会の実現に向けた多元的文化の理解と交流を教育理念として、2010年4月に設立されました。言い換えれば、本学部の目標は、諸課題が輻輳し、加速度的に複雑化しつつある現代国際社会において、社会全体を広い視野から眺め、考え、行動できる市民を育成することです。

本学部の教育内容は、外国語コミュニケーション、国際交流、地域理解と大きく3分野に大別できます。これは本学部の母体である既存組織、すなわちコミュニケーション学部言語コミュニケーション学科、文化創造学部文化創造学科多元文化専攻、現代社会学部現代社会学科フィールドスタディコースに所属する教員がほぼそのまま本学部専任教員として教育・研究を担っていることと対応しておりますが、本学部の発展に向けて、既存組織の枠組みから脱し、新たな組織文化の醸成が望まれるところです。

本学部設立後ほぼ1年が経過しようとしている今、振り返れば、学部スタッフの全面的協力を得て様々な課題に対処することができました。それらは学問分野や社会・文化的背景の異なる専任スタッフ間の相互協力と問題解決への真摯な姿勢の賜といえます。しかし、本学部の教育・研究体制は今後ますます努力を重ねて整備充実を図る必要があります。

このような状況において本論集の果たす役割はきわめて重要であると認識しております。日頃の学問研究成果あるいは教育指導上の実践研究報告等の発表の場として十分に活用して頂きたいと考えます。また、専任教員それぞれの学問領域が非常に多岐にわたっているなかで、新たな学際的研究が生み出されるよう期待するものです。

『愛知淑徳大学論集－交流文化学部篇－』の刊行に際し、皆様のご叱正とともにご指導・ご教示を賜りたくお願い申し上げます。